

生活

© 東京新聞

●介護者のQOL

在宅医療を支えるのは介護の環境です。配偶者と子が介護の担い手になることが多いのですが、一人に負担が集中してしまうと、その方の生活の質(QOL)が低下します。在宅医療の導入により家

旬のさかな 鰯
雪が降る季節になつて捕れる魚という意味。肉質は淡泊で栄養に富みます。精巣の白子、卵巣の鱈子は広く食され、肝臓から肝油がとれます。

くらしのこよみ
うつくしいくらしかた研究所



在宅医療のカルテ

家族のQOLも向上するのが理想ですが、当院で行ったアンケートでは、残念ながら在宅医療導入前後での明らかなQOLの向上は認められませんでした。

これは、それぞれの家庭の状況や、介護の受け止め方に違いがあることが原因です。介護の状況は、介護を必要とする方の疾患の程度や介護サービスの利用の仕方に左右されます。介護に対する考え方では、あまり苦痛に思わない方から、かなりのストレスをかかる方までさまざま。仕事との両立

家庭状況で大きな差

Sさんは、長男ということで高齢な両親の介護を一手に引き受けています。デイサービスなどの介護サービスも利用しているのです

が、両親が体調を崩したときは介護負担が一気に重くなります。特に父親は、誤嚥性の肺炎を繰り返してお困るかも大きな問題です。

(川崎高津診療所院長)
=次回は二月三日掲載



在宅医療は介護があってこそ (一部画像処理)

しており、家の療養が困難なこともあります。Sさんは、介護のために仕事を辞めざるを得ず、早期退職をしました。五十代の働き盛りの方にとっては、大きな決断です。

二〇一二年度の総務省の就業構造基本調査によれば、介護をしている方の約五割が六十歳以上。また、介護や看護のために前職を離職した方は、一二年九月までの一年間で十万人を突破し、その八割が女性です。一方で、介護休業制度などの利用は、正規の職員・従業員の16・8%にとどまっています。このように、介護をめぐる問題では、介護をする側の労働面での対策も重要なことがわかります。